

K A W A K A M I D A M 2008

川上ダム通信

9月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

右岸鞍部をとおる活断層はない!! 川上ダム地質現地説明会を開催

9月21日(日)に川上ダム建設所で地質現地説明会を開催しました。この会はダムサイト上流右岸鞍部をとおる活断層は存在しないとする水資源機構の見解に疑問を持たれる一般の方々に対して、淀川水系流域委員会の要請により、事業者の当機構から正しく説明することを目的に、開催したものであります。

当日は、これまでの地質調査の結果をもとに右岸鞍部をとおる活断層は存在しないことを詳しく説明し、また、実際に現地では斜面の断層が露頭している箇所や地形の様子を歩いて観察しました。参加者の方々からは、「実際に目で見て、断層の大きさや固さが確認できて安心できた。」「十分な調査をしていることがわかった。」との感想をいただきました。

今後とも、川上ダムの計画について、皆様の心配事が解消されるように、正しくわかりやすい説明を心がけていきます。

【調査設計課長 岩本浩】

参加者の声

現場を実際に見ながら、説明を聞いたことはよかった。一日だけでは、実際的な内容はわからないので、このような機会を増やして欲しい。水資源機構には安全安心なダムをつくってもらいたい。

我々は、専門家ではないので詳細な内容までは分からないが、水資源機構は住民の誤解や不安を無くしようと、一生懸命、熱心に取り組んでくれたと思う。

※結果報告につきましては、川上ダム建設所ホームページに掲載しています。



現地観察



ボーリングコア観察

川上ダムの推進について予算上の裏付けを確保 ~来年度38億円概算要求~

8月27日(水)、平成21年度の川上ダムの予算として約38億円が、国土交通省から財務省に対して概算要求されました。

今年度の36億円よりも2億円の増です。河川整備計画、事業実施計画等の手続きが遅れてはいるものの川上ダム本体工事に向けて、準備工事が進捗するよう、予算の手当てが着実になされている状況です。

今後は早期ダム本体着工を目指し予定されている各種の工事を着実に竣工させるよう職員一同努力して参ります。

【工務課長 柳生光彦】

筑後川・矢部川水道水源開発協議会が川上ダム建設予定地を見学

8月26日（火）、筑後川・矢部川水道水源開発協議会の皆様9名が川上ダム建設所の現場を視察されました。今回は、「淀川水系における川上ダムの役割等」について現場視察を通じて理解することを目的に開催されました。

当日は事業概要の説明を受け、ダムサイト建設予定地、付替道路等を見学されました。参加者の皆様から、河川整備計画の進捗状況や長寿命化についての質問があり、事業の進捗状況や事業内容について理解いただきました。



事業概要説明

大阪府水道部が川上ダム建設予定地を見学

8月29日（金）、大阪府水道部の近藤部長他6名の皆様が川上ダム建設所と青蓮寺ダム管理所の現場を視察されました。今回の視察は、川上ダムを含めた上野盆地の治水の必要性、現状を把握すること、木津川上流ダム群の現状を把握するために実施されました。

午前、青蓮寺ダム管理所、午後、川上ダム建設所で事業概要の説明を受け、ダムサイト建設予定地、付替道路、オオサンショウウオ保護池等を見学されました。その後、下流の上野遊水地、岩倉峡を視察されました。

参加者の皆様からは、「川上ダムや上野盆地の治水の必要性を理解できた」との感想をいただきました。水資源機構にとって利水者の皆様に事業の必要性や現状を把握していただくことは非常に重要です。

今後ともこのような現場視察を通じて、利水者の皆様に事業の必要性や現状を報告していきたいと考えております。



川上ダム建設予定地にて

【工務課長 柳生光彦】

9月1日(月) 防災訓練, 普通救命講習会を実施

午前、川上ダム建設所では、大規模地震が発生したという想定の上に、地震に関する防災意識の維持・高揚を図るため、初動態勢の確立、情報収集・伝達等防災訓練を行いました。職員は気を引き締め、刻々と移り変わる状況に対応するべく真剣に取り組みました。

【工務課 柴田健一】

午後、心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）の使用方法を学ぶ普通救命講習会を、伊賀市消防本部救急救助係より3人の講師の方を招き、川上ダム建設所で行いました。普段至るところで見かけるようになったAEDですが、どのような状況で、どのように使用するか全く知りませんでした。AED講習のおかげでその使用方法はもちろん、AED使用までに何を必要があるのかなど理解できたのではないかと思います。

【調査設計課 竹内宏隆】



防災訓練



普通救命講習会

『カブトムシ^{どこ}シ床』をつくりました

川上ダム建設予定地では、これまで環境調査をやってきておりますが、今後は、貯水池周辺の整備、とりわけ生物の生息環境に配慮した整備に地域の方々とともに取り組んでいきたいと考えております。今回は、水資源機構で試験的に実施した「カブトムシ床」の取り組みについて報告いたします。

川上ダム周辺には、現状でコナラ・クヌギなどの昆虫の好む落葉広葉樹が多く、また、工事等で発生する伐採木や刈草等の植物資源が発生します。今回は、昆虫の生息環境の保全と植物資源の活用を検討する一環として四日市市在住の昆虫研究者である石田昇三先生のご指導を受け、カブトムシの産卵のための「カブトムシ床」をつくることとしました。

作業は、木柵で囲った24m²の敷地に、過年度から集積してあった伐採木の破碎チップ及び伊賀市阿保にある学校法人愛農学園農業高等学校から購入した牛糞を合わせて11m³敷き詰め、その上部に遮光ネットを敷設しました。

来年の夏にはここから多くのカブトムシが成虫として飛び立つ姿が見られそうです。この取り組みについては、定期的に報告させていただきます。 【環境課 水野正明】



本柵設置状況



「カブトムシ床」設置完了

破碎チップの中には、幼虫が入っていました



技術研究発表会(関西ブロック:予選)

水資源機構では、職員が日常業務の中で遭遇した様々なテーマについて、取りまとめて、報告することにより職員の技術力の向上を図るとともに、一般の方々や関係県、利水者の方々に機構の技術力や機構業務について理解を深めてもらうため、技術研究発表会を開催しています。

関西ブロックの技術研究発表会は、9月18日(木)、19日(金)の2日間にわたって行われました。これは本社技術研究発表会の予選を兼ねており、川上ダム建設所から以下の5名が発表しました。



発表(調査設計課 田中)

- | | | |
|----------------------------|-------|-------|
| ● 水源地域対策の効果と課題 —川上ダムの事例から— | 第一用地課 | 比嘉真知子 |
| ● 山岳道路における大型クレーンの搬入について | 工事課 | 金澤祐樹 |
| ● 川上ダム転流工の設計と施工計画について | 調査設計課 | 田中幸志 |
| ● 事業用地の保全と銃猟禁止区域の設定について | 第二用地課 | 藤好健太郎 |
| ○ 川上ダムのオオサンショウウオ道遡上試験について | 環境課 | 磯野正典 |

結果、「川上ダムのオオサンショウウオ道遡上試験について」(磯野)が優秀賞に選ばれ、本選に進むことになりました。なお本選は、11月12日(水)、13日(木)に行われます。【調査設計課 竹之内健太】

～水の調査隊のご紹介～

川上ダム建設所では、これから本格的に動き出すダムの建設現場やダム周辺の水辺環境を実際に目で見て体験していただくことを通じ、事業に対する理解をより深めていただく取り組みとして、児童・生徒を対象に「水の調査隊」と題した施設見学を実施しております。

具体的には、1班10人程度でダムサイトの岩質調査のために掘った横穴（横坑）に入って石の硬さを確認したり、保護したオオサンショウウオの観察などを体験できます。今年は地元の小学校から数クラスの申込みをいただいております。

これからの伊賀市を担うお子さんたちがこういった実体験を通じ、地元の安全・安心を支えるダムや周辺の環境について身近に学習するきっかけづくりになればと思います。【総務課 森隆博】



横坑見学



オオサンショウウオの観察

第14回

ちかた 藤原千方伝説地探訪

〈瀬戸ヶ淵〉

藤原千方終焉の三地の一つである。この場所で、千方が朝廷軍の頭目、紀友雄にうたれたといわれる。

※瀬戸ヶ淵（白山町家城）への行き方
JR名松線 家城駅下車 徒歩15分、車で5分



瀬戸ヶ淵橋からの眺め

EVENT

第4回 ふれあいフェスタ in 青山

地元農産物の朝市はじめ、木材製品の販売、地元地区の出店やフリーマーケットのテントが軒を連ねる。丸太切りなどの各種体験コーナー、地元「青山太鼓」演奏やソーラン踊りなどのアトラクションもある。

○日時／10月13日（祝・月）10:00～15:00（参加無料）

○場所：青山ハーモニー・フォレスト 芝生広場及び周辺
入場無料。体験コーナーで有料有り。

○問い合わせ／ふれあいフェスタ in 青山実行委員会
TEL 0595-52-3220

上野天神祭

400年余の伝統と歴史を持ち、伊賀上野の秋を彩る伊賀最大の秋祭。本大祭では、神輿行列や鬼行列、だんじりが市内を巡行する。

○日時／10月23日（木）～25日（土）

○場所：伊賀市三筋町（本町通り・二之町通り・三之町通り）

○問い合わせ／上野天神祭振興会
TEL 0595-21-0527

編集後記

秋風が立ち、しのぎやすい季節となりました。地元の皆様へ一日千秋の思いでお待ちいただきおりました10月1日の付替県道松阪青山線の供用開始ですが、諸般の事情で先送りすることになりました。心より深くお詫び申し上げます。

【広報誌発行事務局】

編集長 及川 拓治（川上ダム建設所長）

デスク 吉岡 直也（総務課長）

〃 柳生 光彦（工務課長）

通信記者 磯野 正典（環境課）

〃 竹之内健太（調査設計課）

〃 箕輪 律子（総務課）



ISO14001 : 2004
JQA-EM5769

☆☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆☆
◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。◇